

【取扱い嚴重注意】

平成24年5月18日

## 聴取結果書

東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会事務局

局員 岡田 幸大

平成24年5月17日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証のため、関係者から聴取した結果は、下記のとおりである。

### 記

- 第1 被聴取者、聴取日時、聴取場所、聴取者等
- 1 被聴取者  
東京電力 福島安定化センター 保健安全グループ 木村義昭
  - 2 聴取日時  
平成24年5月17日午後3時25分から同日午後4時15分まで
  - 3 聴取場所  
Jヴィレッジ 女子寮2階会議室
  - 4 聴取者  
岡田 参事官補佐
  - 5 ICレコーダーによる録音の有無等  
 あり  
 なし
- 第2 聴取内容  
KKが3月31日に発送したAPDの受取り等について別紙のとおり
- 第3 特記事項  
なし

以上

【取扱い厳重注意】

別紙

1. 被聴取者の身分について

私、木村義昭は、福島安定化センターの保健安全グループに所属している。事故前は、福島第一原発（以下「1F」という。）の1号機から4号機で、気体廃棄物の放出処理関係の仕事をしていた。事故の直後は、保安班に配属され、保安班長の補佐を行った。私は、もともとオフサイトセンターの参集要員であったため、12日に招集がかかってオフサイトセンターに行った。15日に大熊町のオフサイトセンターが解散すると、1Fの人が福島第二原発（以下「2F」という。）に退避していると聞いていたので、一度2Fに立ち寄り、夕方には1Fに戻って、それ以降、放射線の測定等の仕事を行った。しかし、1週間くらいで100mSvを超えてしまったので、小名浜でWBCを受け、翌日からは免震棟内で計測器の管理やAPDの貸出しの業務を行った。現在は、福島安定化センターで線量管理を行っている。

2. APDの搜索及び受け取りについて

私は、24日に計測器の管理の班に配属された頃だったと思うが、■■■■氏から、「柏崎刈羽原発（以下「KK」という。）がAPDを送ったらしいけど、見つからない」という話を聞いていた。他の保安班員からも「探したけど、1Fにはない」と聞いていた。

3月末頃の夜、それまで一部の作業グループには代表者だけにAPDを持たせていた運用をやめ、翌日から1人1個持たせる運用に戻すことになったと知った。1人1個持つと、APDが不足すると考えて、また、KKから送られているという情報もあったため、自分の判断でAPDをくまなく搜索することとした。他の人も探して見つからないとは聞いていたが、みんな時間がない中でちょっと見て探すぐらいしかできなかったのだろうと思って、どこかに隠れているのではないかと思った。積み重ねられている資材をどかしたりしてくまなく探した結果、外から見ただけでは分からないような、何でこんなところに入っているのかというような状態で、何台だったかは分からないが、APDを見つけたように記憶している。

充電器については、APDが見つかってわりとすぐ、2Fで見つかったということを知ったと思う。私は、2Fに長くいたことから、2Fまで充電器を取りに行くことになり、■■■■氏と待ち合わせて、4月1日の昼頃に2Fの倉庫で充電器5台を受け取った。

また、同日の早朝5時か6時頃、KKの■■■■GM、■■■■グループリーダーとJヴィレッジで待ち合わせて、APDと充電器を受け取った。ワゴンで来たので、それほど多量ではなく、100個か200個程度だったと思う。

私は、24日以降、免震重要棟からほとんど出ておらず、APDを使っていなかったため、Jヴィレッジや2FにAPDや充電器を取りに行ったのは、APDの貸出し記録から、4月1日で間違いないと思う。

なお、KKのAPDは、0.1mSvで予備警報が鳴る仕様であり、これは警報設定器でも変更できなかったため、主に5、6号機等線量の低い場所に行く作業員に貸し出した。